

モデル建物法入力支援ツール 変更点 (Ver. 2.5.2 → Ver. 2.6.0)

以下の変更を行いました。

1) 窓性能値を変更

- ・ 枠種類が「木製・樹脂製」、ガラスの種類が「単板ガラス」である場合の日射熱取得率が不適切であったため、以下のように変更。
 - (Ver.2.5 まで) ブラインドなし 0.57 ブラインドあり 0.41
 - (Ver.2.6) ブラインドなし 0.63 ブラインドあり 0.45

2) モデル建物法における設備別 BEI の算定方法を変更

- ・ 計算対象床面積で補正する前の一次エネルギー消費量を使用して BEI (=設計一次エネルギー消費量/基準一次エネルギー消費量) を算出していましたが、これを計算対象床面積で補正後の一次エネルギー消費量を使用して BEI を算出するように変更。
 - 複数用途集計後の出力 PDF に印字されている設備別 BEI は、従来から「計算対象床面積で補正後の一次エネルギー消費量」を使って算出した BEI でした。建物単体で計算したときと複数用途集計をしたときで設備別 BEI の数値が異なる場合がありますので、処理方法を統一しました。
 - 計算対象床面積による補正は、BEI の分子・分母の両方にかかるため、殆どのケースでは BEI の数値は変わりませんが、四捨五入の関係で 0.01 変わるケースがあり得ます。建築物全体の BEI には影響はありません。

3) その他、微調整

- ・ 入力シートの API 機能を調整 (プロキシ設定の自動取得を追加)
- ・ 入力チェックルールの調整 (様式 B-2 の熱貫流率の閾値の調整等)

以 上